間違わない補聴器の選び方・着け方（5）

博士補聴器　代表　由井　宏和

補聴器は両耳に必要？

補聴器は両耳に使うべきか？　初めて補聴器を検討される方とお話しする際、よく話題になることです。皆様はご自身、もしくは身近なご家族に補聴器を検討する場合、両耳と片耳のどちらをご選択されますか？　お客様によっては「私はそんなに聞こえないわけではないから片方で十分」というお考えの方もいらっしゃいますし、中には補聴器店に両耳をお勧めされたことに対し「一つでも多く買わせたいのでは？」とお感じになる方もおられるかも知れません。今回は、両耳装用と片耳装用にどのような違いがあり、どちらが良いのか、メリットとデメリットを簡単にご紹介いたします。

【両耳装用のメリット】

◆音の方向感がわかりやすい

◆騒がしい環境で言葉が理解しやすくなる（両耳スケルチ、頭部陰影効果）

◆小さい音声が聴きやすくなる（両耳加重効果）

◆装用しない耳の言葉の聞き取り能力低下を避けることが出来る（遅発性の聴覚の廃用を避ける）

◆音質の改善（人によって）耳鳴りの軽減

◆片方が故障したり電池が無くなったりしても片方でやりすごせる

【両耳装用のデメリット】

◆古いアナログ補聴器等では、却ってうるさい場合がある

◆高齢者にとっては取扱いや、操作管理が煩雑になる

◆稀に耳閉感が強くなる

◆左右の耳の状態に差が有る場合、合わないことがある

◆二台分の費用がかかる

ヒトをはじめとする動物は従来耳が二つあります。補聴器を両耳で使う目的は耳が二つあることのメリットを最大限生かすことにあります。しかし、費用面でのデメリットがあることもまた事実で、わが国で両耳装用を妨げる一番の要因ともなっています。

私は補聴器を両耳で使用することのメリットを考えますと、ハイクラスの補聴器を片耳にするより、ミドルクラスを両耳にした方が得られる効果は大きいと考えています。もちろん性能の高い補聴器を両耳に装用できればより良いということは言うまでもありません。実際、国内で補聴器の満足度を調べた調査では、両耳装用の方が満足度が高いという結果も出ています。

お耳の状態によっては、片耳装用やそれ以外の選択肢をお勧めする場合もございますが、基本は両耳装用をお勧めしております。とはいえ、悩むところでもあるでしょうから、耳鼻科専門医や認定補聴器技能者とよくご相談されたうえで、試聴段階で両耳と片耳を比較してみるのも良いでしょう。

また、稀に両耳買っても片耳しか使わない人もおられますが、きちんと調整とトレーニングをすれば、多くの場合は両耳の効果を実感できるはずです。どうすべきか悩んでいる方、ご自身の補聴器を両耳につけていられない方はぜひお気軽にご相談ください。

参考：Harvey Dillon著中川雅文訳補聴器ハンドブック第2版、JOHNS 33巻4号